

2022年度

北海道生活困窮者支援情報交換シンポジウム



+



# 北海道における 生活困窮者支援の現状と課題 ～法改正と現実の狭間に～

令和5年の生活困窮者支援制度の改正に向けて、家計改善支援・就労準備支援事業の必須化、緊急宿泊事業の必要性、災害対策等々議論が進んでいます。一方、各地域の支援現場においては、新たな困窮者層に対し、幅広い支援を求められ対応に苦慮している実態もあります。

今後、生活困窮者支援が目指すべき姿と、各地域の現状とのギャップについて考えます。

2022年 13:30 市民活動プラザ星園 大会議室  
**11/4** (金) 17:00 (札幌市中央区南8条西2丁目)

第1部  
13:40  
講演会

生活困窮者支援法改正に向けて  
～これからの生活困窮者支援に期待すること～

厚生労働省社会・援護局地域福祉課

会場登壇

生活困窮者自立支援室長  
地域共生社会推進室長

米田 隆史 氏



兵庫県姫路市出身。平成15年4月に厚生労働省に入省し、これまで、医療保険制度改革や働き方改革などの制度改正、障害福祉サービスの報酬改定、国会との連絡調整などに従事。山梨県北杜市の福祉課長として市役所勤務も経験。令和4年7月から現職。北海道には、十数年前に研修(ハローワーク・労働基準監督署)のため3か月間だけ過ごしたことがある。その合間に道内各地のユースホステル巡りをしたことが今でも楽しい思い出。

今後多様な対応が求められていく生活困窮者支援において、新たな生活困窮者支援法制度のあり方についてなどをお話しいただき、情報交換会での話題を提供していただきます。

第2部  
14:45  
情報交換会

2022年度 北海道生活困窮者支援 情報交換会  
～生活困窮者支援の現状と課題～

会場登壇  
コメンテーター

一般社団法人生活困窮者全国ネットワーク  
事務局長 行岡 みち子 氏

会場にて  
家計改善のグループの  
希望がある場合  
ご担当下さい。

各グループに分かれて情報交換を行います。話題提供者からの事例や、各地域の悩み等、各テーマにおける課題を共有し、北海道における今後の生活困窮者支援について考えていきます。(申込み希望テーマに沿ってグループを設定します)

# 2022年度 後方支援プロジェクト とは?

2020年度より行ってきた、後方支援プロジェクトをベースに生活困窮者支援機関同士の情報交換の場を構築、支援機関自体の孤立を防ぐ事、各地域の支援機能、社会資源を充実させるため2022年度は①生活困窮者支援機関同士の情報交換及びネットワークづくり ②北海道支援情報ナビでの支援情報の提供 ③フードバンク窓口連携の促進を行い、生活困窮者支援機関同士のネットワークづくりを通じた後方支援を行っています。



本事業は令和3年度 社会福祉振興助成事業  
(コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間団体活動助成事業) の助成を受け実施しています。

2022年度 北海道生活困窮者支援 情報交換シンポジウム

## 北海道における生活困窮者支援の現状と課題 ～法改正と現実の狭間に～

### お申し込み方法

1～3いずれかの方法でお申し込み下さい。  
申込後、参加用URL・資料等を送付いたします。

#### 1 お申し込みフォーム

QRコードを  
読み込んで下さい



#### 2 FAX 011-511-1316

#### 3 E-mail uketuke@cmtwork.net

**会場** 市民活動プラザ星園 大会議室  
(札幌市中央区南8条西2丁目)

**対象** ・生活困窮者支援機関  
・自治体  
・社会福祉協議会  
・生活困窮者支援に関わるNPO法人等の職員

**申込期間** 2022年  
9月30日(金)～10月21日(金)

**定員** 会場100名+オンライン100名  
オンライン参加の場合は希望するグループに入れない場合があります

運営団体名	自治体の方は所属部署名もご記入下さい	TEL	( )
事業所名		E-mail	

参加者氏名	入室用メールアドレス(上記のアドレスと同じ場合は不要です)
1	
2	
3	



### 問い合わせ NPO法人コミュニティワーク研究実践センター

札幌市中央区南8条西2丁目 市民活動プラザ星園  
電話:011-206-9565(代表) 090-9433-4511(担当者直通)  
FAX:011-511-1316 E-mail:uketuke@cmtwork.net 担当:佐渡・柴田